

株式会社 エーワン精密



取締役相談役
梅原 勝彦

国内シェア6割を誇る
コレットチャックで、
高収益を38年間継続

山梨県

韮崎市旭町上條南割3191(山梨工場)
(本社所在地:東京都府中市分梅町
2-20-5)

1965年(昭和40年)設立
:0551-22-5811

(本社連絡先: 042-363-1039)

<http://www.a-one-seimitsu.co.jp>

自動旋盤に必要となるコレットチャックで国内シェア6割を誇る。工程管理や品質管理を行う部署を設けない等、徹底的な時間ロスを排除するなどにより超短納期を実現。これによって高収益な経営を実現。

日本のモノ作りを支える高精度な精密旋盤用消耗工具を製造

同社が主力商品としている自動旋盤に取り付けられるコレットチャック(工作機械の1部品で、素材、加工物などを保持する工具)は、国内シェア6割を誇る。同社では、優れたスプリング性、耐磨耗性、芯振れ精度が要求されるこのコレットチャックを加工から熱処理まで一貫して自社で実施することにより、高精度の商品を実現。

注文を受けて当日中に発送する「超短納期」を実現

創業以来一貫して、短納期にこだわっており、通常は、1週間~2週間掛かるコレットチャックを1日~3日で対応している。短納期対応を図るため、工程管理や納期管理、品質管理を行う部署も設けず、朝礼や会議も行わないなど短納期のロスとなる要因を徹底的に排除。これによって、1日で数百点。月間1万弱の点数の出荷体制を誇っている。

このため業界では、「自社で作るより同社に頼んだ方が早くて安くできる」という高い評価を受けている。

経常利益率35%超を38年続ける町工場

小ロットや特注品についても短納期対応できることから、常に従業員の働きに見合う給料が支払える値段で仕事を受注するなど、価格面での交渉力を維持。好景気時には、きちんと利益を出し不況時対応費用を織り込む企業方針を維持。このような不断の経営努力によって、創業以来38年間近く売上高経常利益率35%以上の高収益経営を実現している。



株式会社 はくばく



代表取締役社長
長澤 重俊

山梨県
南巨摩郡増穂町最勝寺1351

1941年(昭和16年)設立
0556-22-8989

<http://www.hakubaku.co.jp>

開発志向で「白い麦」を
実現した穀物製品メーカー

大麦や雑穀という素材にこだわり、高い技術力で課題を解決して製品開発する「The Kokumotsu Company」。ミックス雑穀など新たな需要創出に挑戦。

研究開発・技術力によって実現した「白い麦」

同社は創業以来、お米を上回る栄養価を持った食品素材である大麦の普及を目指してきた。そのため、大麦粒の中央にある黒条線を除去してお米と一緒に炊きやすくしかも食べやすくする課題に取り組み、画像処理による「黒条線選別機」を開発し、麦を黒条線に沿って一粒一粒切断し、むき出しになった黒条線を削り込むという製法を生み出した。これにより作られた黒条線のない麦を「お米のように白い麦＝白麦米」と名付けた。社名の「はくばく」は白麦に由来する。

穀物という素材にこだわった製品開発

「白麦米」以来、お米と一緒に炊いてもお米の上面に浮き上がらないようお米と同じ比重と形状に整えた「米粒麦」の開発、胚芽を剥離させないで精白する「胚芽押麦」の開発、カルシウムやビタミン類をコーティングした製品の開発など、おいしく健康によい大麦という素材にこだわった新製品とその製造装置の開発に取り組み、需要拡大を図ってきた。近年は、新しい食のニーズに応え、ミックス雑穀などの新たな可能性を拓ける製品開発に取り組んでいる。

高い技術力で、基礎研究と製品開発に挑戦

研究開発は、栄養素、食物繊維の含有量、穀物の栄養機能等の基礎的なことからコツコツ積み上げている。最近では、麦の糠から得られる水溶性の食物繊維βグルカンに注目し、産官学連携で新商品開発に取り組んでいる。また、オリジナルな製品づくりには、既存の汎用機などでは対応できないため、画像処理による「黒条線選別機」や乾麺の「高速計量自動結束機」など独自の開発を行ってきた。高い技術力が、独自の製品づくりを支えている。



押麦

米粒麦

独自技術で精麦された大麦



主な製品

FA省力機械開発を通じて、
高速技術とオリジナリ
ティを追及

株式会社 オーテック メカニカル

山梨県
南アルプス市下宮地68-2

1985年(昭和60年)設立
055-282-1382

<http://www.autec.co.jp/>



代表取締役
芦澤 邦秀

省力機械の特注機の開発を通じ、高速性と、高信頼性、独創性の高いFA機を提供。

問題解決型FA機械製造メーカー

創業以来23年、自動組立機、検査機、ハンドラー、LED関連機械を中心としたFA機械メーカーとして数百種類の特注機を手がける。

時代の変化に対応し、機械の高速化によるコストパフォーマンスの向上、人まねを排除した独創性を追求しながら独自のデザインレビューによる設計ミス防止により信頼性の向上と技術の蓄積に努めている。

独自の機構により高速性と高信頼性を実現した自動組立ベースマシン

カム1個で連動して動作する自動組立機は独自の製品であり、このベースマシンを応用した自動組立機はシンプルな構造から高速性と高信頼性を実現し、電子部品組立、オーディオ・ビデオ組立等、広く市場で受け入れられている。

常に新たな技術開発を指向

小集団ながらも常に開発を指向し、新規性のある機構、超高速のハンドラー技術の開発を行うべく技術者平均年齢31歳の会社が前進を続ける。



BM-500

自動組立ベースマシン



電気部品組立 BM-500を2台連結